

魚津市教育振興基本計画(素案)との変更点

章	頁	変更箇所		備考
		変更前	変更後	
目次		施策7 健やかな心と体をつくる生涯スポーツ活動の推進	施策7 健やかな心と体をつくるスポーツ活動の推進	※生涯を削除
目次		第6章 施策の推進のために	第6章 計画の推進のために	※語句の訂正
1	1	<p>近年の科学技術の発達とともに、高度情報化や国際化が進展し、社会が大きく変化してきました。そして、人々の価値観やニーズも多様化し、生活習慣の変化、環境問題、防犯対策の問題など、多くの課題が生まれています。</p> <p>また、核家族化や少子高齢化の進展とともに、家族形態や地域社会が大きく変化し、人間関係や地域連帯感が希薄となってきています。このような状況のもと、学校や家庭、地域の教育力の向上・充実が求められています。</p>	<p>近年の科学技術の進展は、人々の交流の幅を大きく広げるとともに、情報通信技術の急速な発達をもたらしました。それに伴い、私たちを取り巻く社会も大きく変化し、人々の価値観やニーズも多様化しています。</p> <p>また、核家族化や少子高齢化の進展とともに、家族形態や地域社会が大きく変化し、人間関係や地域連帯感が希薄となってきています。このような状況のもと、学校や家庭、地域の教育力の向上・充実が求められています。</p>	※文章の校正
1	2	※教育振興基本計画を教育大綱として位置づけイメージ図を変更（「教育大綱」と「魚津市教育振興基本計画」を一部重ねる）		
2	3	<p>また、平成 22 年の65歳以上の人口割合は、27.8%（全国平均23.0%）、15歳未満の人口割合は12.5%（同13.1%）となっており、魚津市においても少子高齢化が進んでいるといえます。</p>	<p>また、平成 22 年の65歳以上の人口割合は、27.8%（全国平均23.0%）、15歳未満の人口割合は12.5%（同13.1%）となっており、本市においては、全国と比べても少子高齢化が進んでいるといえます。</p>	※計画中、主語が「魚津市」の場合、「本市」に統一。

2	3	グラフ表記の変更	※総人口数を加筆
2	4	<p>(人口減少と高齢化社会の進展は、出生率の減少だけが原因ではありません。若年層の地方から首都圏への流入も大きな問題となっています。</p> <p>平成26年5月、民間研究機関は、<u>平成52年</u>には全国約1,800ある市町村のうち、約半数にあたる869市町村が消滅する可能性がある(消滅可能性都市)とした報告書をまとめ、大きな反響となりました。地方の人口減少は、過疎化を招くほか、地域の文化、伝統の衰退にもつながります。若年層の人口流出を防ぐため、子育てしやすい環境整備や経済的基盤の確保、女性の活躍推進など、様々な対策を講ずることが喫緊の課題となっています。) <u>以降右加筆。</u></p>	<p>人口減少と高齢化社会の進展は、出生率の減少だけが原因ではありません。若年層の地方から首都圏への流入も大きな問題となっています。</p> <p>平成26年5月、民間研究機関は、<u>2040年</u>には全国約1,800ある市町村のうち、約半数にあたる869市町村が消滅する可能性がある(消滅可能性都市)とした報告書をまとめ、大きな反響となりました。</p> <p>地方の人口減少は、過疎化を招くほか、地域の文化、伝統の衰退にもつながります。若年層の人口流出を防ぐため、子育てしやすい環境整備や経済的基盤の確保、女性の活躍推進など、様々な対策を講ずることが喫緊の課題となっています。</p> <p><u>こうしたことから、平成26年11月、地方創生関連法案の成立を受け、国はこれまでの地方分権推進に加え、人口減少と地方創生に取り組むこととし、50年後に1億人程度の人口維持をめざす「長期ビジョン」と、人口減少を克服し将来にわたって活力ある社会を実現するための5か年計画を示す「総合戦略」をとりまとめました。</u></p> <p><u>本市でも国が進める地方創生戦略に対応した人口減少対策を全庁的な組織体制で取り組むため、「魚津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」を平成27年10月に策定しまし</u></p>

			<p><u>た。</u> <u>この戦略では、2060年に本市の人口規模を3万人に維持する</u><u>とした具体的な数値目標等を掲げ、その目標達成のために4つの基本目標と基本的方向、11の具体的な施策についてとりまとめている。</u> <u>本市では、人口減少の克服と地方創生をめざして市民や地域、各種団体と一体となり推進していきます。</u></p>	
2	5	<p>◇ 消滅可能性都市 ◇ 少子化の進行に伴う人口減少によって、存続が困難になると予測されている自治体のこと。<u>平成26年5月に、民間研究機関である「日本創成会議」人口減少問題検討分科会が、平成52年までに全国約1,800市町村のうち約半数の896市町村が消滅するおそれがあると発表しました。</u> <u>平成22年の国勢調査を基に試算し、平成52年時点で20～39歳の女性人口が半減する自治体を「消滅可能性都市」と位置づけています。</u>また、同時期までに人口1万人を切る523自治体は、とりわけ消滅の危険性が高いとしています。 <u>報告書には具体的な自治体名まで記載されたため、大きな反響を呼びました。平成26年11月には、国は「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、人口減少と首都圏への集中、地域におけるワークライフバランスを確保して、将来にわたって活</u></p>	<p>◇ 消滅可能性都市 ◇ 少子化の進行等に伴う人口減少によって、存続が困難になると予測されている自治体のこと。民間研究機関である「日本創生会議」人口減少問題分科会が、<u>平成22年の国勢調査を基に試算しました。報告書では、2040年までに全国約1,800市町村のうち約半数の896市町村が消滅するおそれがあり、なかでも人口1万人を切る523自治体は、とりわけ消滅の危険性が高いとしています。</u></p>	<p>※上記に記載したため、◇消滅可能性都市◇の項を校正。</p>

		<u>力ある日本社会を維持してく施策を検討しています。</u>		
3	9	出生率の低下や子育て世代の転出の増加などを背景に、少子化が進行しており、幼稚園・保育園入所児童数は年々減少しています。現在、市内には、公立幼稚園が1園、私立幼稚園が1園、公立保育園が8園、私立保育園が8園設置されていますが、入所児童数の減少に伴い平成28年度末に <u>明星</u> 幼稚園の閉園が予定されています。	出生率の低下や子育て世代の転出の増加などを背景に、少子化が進行しており、幼稚園・保育園入所児童数は年々減少しています。現在、市内には、公立幼稚園が1園、私立幼稚園が1園、公立保育園が8園、私立保育園が8園設置されていますが、入所児童数の減少に伴い平成28年度末に <u>私立</u> 幼稚園の閉園が予定されています。	※語句の修正
3	9	(図1) データ <u>H17-H26</u>	(図1) データ <u>H18-H27</u>	※表データを直近10か年に更新
3	10	平成27年 <u>3</u> 月に <u>策定した魚津市子ども・子育て支援事業計画では、平成30年度に住吉保育園を、平成31年度に経田保育園をそれぞれ認定こども園化し、市西部・東部のそれぞれで、教育・保育を一体的に提供できる環境を整備することとしています。住吉保育園については、園舎が老朽化していることから、改築を視野に入れ、民設民営化、または公設民営化することも検討していきます。経田保育園については、施設の大規模修繕を実施したうえで、民営化することも検討していきます。</u> なお、認定こども園において、保育園・幼稚園の長所を生かした特色のある幼児教育及び保育を実施します。	平成27年 <u>4</u> 月に <u>スタートした「子ども・子育て支援新制度」</u> においては、 <u>教育・保育を一体的に提供する認定こども園の普及促進が図られており、平成28年4月から私立保育園5園が認定こども園へ移行することとなっています。公立保育園の認定こども園化については、民設民営化又は、公設民営化も視野に、私立保育園の移行状況や保護者のニーズをみながら整備に努めます。</u> なお、認定こども園においては、 <u>保育園・幼稚園の長所を生かした特色のある幼児教育及び保育を実施します。</u>	

3	14	<p>平成26年度のいじめ認知数は、小学校では<u>0.93%</u>と増加傾向にありますが、中学校では0.76%と減少しています。</p>	<p>平成26年度のいじめ(認知件数)は、小学校では<u>1.30%</u>と増加していますが、中学校では0.76%と減少しています。</p>	<p>※語句の訂正</p>																																																																																																
3	16	<p>(表1) いじめの認知数の在籍比</p> <table border="1" data-bbox="405 325 952 799"> <thead> <tr> <th colspan="4">小学校</th> </tr> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23人</td> <td>15人</td> <td>6人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>0.85%</td> <td>0.65%</td> <td>0.27%</td> <td>0.93%</td> </tr> <tr> <td>0.53%</td> <td>0.32%</td> <td>0.57%</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>0.48%</td> <td>1.75%</td> <td>1.80%</td> <td>— %</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="405 847 952 1321"> <thead> <tr> <th colspan="4">中学校</th> </tr> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人</td> <td>10人</td> <td>14人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>0.42%</td> <td>0.86%</td> <td>1.19%</td> <td>0.76%</td> </tr> <tr> <td>0.89%</td> <td>1.98%</td> <td>1.03%</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>0.90%</td> <td>1.86%</td> <td>1.64%</td> <td>— %</td> </tr> </tbody> </table> <p>H27 学校基本調査</p>	小学校				23年度	24年度	25年度	26年度	23人	15人	6人	20人	0.85%	0.65%	0.27%	0.93%	0.53%	0.32%	0.57%	— %	0.48%	1.75%	1.80%	— %	中学校				23年度	24年度	25年度	26年度	5人	10人	14人	9人	0.42%	0.86%	1.19%	0.76%	0.89%	1.98%	1.03%	— %	0.90%	1.86%	1.64%	— %	<p>(表1) いじめ(認知件数)</p> <table border="1" data-bbox="1144 325 1691 799"> <thead> <tr> <th colspan="4">小学校</th> </tr> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td> <td>15件</td> <td>6件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>0.85%</td> <td>0.65%</td> <td>0.27%</td> <td>1.30%</td> </tr> <tr> <td>0.54%</td> <td>0.65%</td> <td>0.57%</td> <td>0.88%</td> </tr> <tr> <td>0.48%</td> <td>1.75%</td> <td>1.80%</td> <td>1.88%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1144 847 1691 1321"> <thead> <tr> <th colspan="4">中学校</th> </tr> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>10件</td> <td>14件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>0.42%</td> <td>0.86%</td> <td>1.19%</td> <td>0.76%</td> </tr> <tr> <td>0.92%</td> <td>1.04%</td> <td>1.03%</td> <td>1.17%</td> </tr> <tr> <td>0.90%</td> <td>1.86%</td> <td>1.64%</td> <td>1.58%</td> </tr> </tbody> </table> <p>H26 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査</p>	小学校				23年度	24年度	25年度	26年度	23件	15件	6件	28件	0.85%	0.65%	0.27%	1.30%	0.54%	0.65%	0.57%	0.88%	0.48%	1.75%	1.80%	1.88%	中学校				23年度	24年度	25年度	26年度	5件	10件	14件	9件	0.42%	0.86%	1.19%	0.76%	0.92%	1.04%	1.03%	1.17%	0.90%	1.86%	1.64%	1.58%	<p>※標題の変更 ※単位の変更 ※データの更新 ※出典表記変更</p>
小学校																																																																																																				
23年度	24年度	25年度	26年度																																																																																																	
23人	15人	6人	20人																																																																																																	
0.85%	0.65%	0.27%	0.93%																																																																																																	
0.53%	0.32%	0.57%	— %																																																																																																	
0.48%	1.75%	1.80%	— %																																																																																																	
中学校																																																																																																				
23年度	24年度	25年度	26年度																																																																																																	
5人	10人	14人	9人																																																																																																	
0.42%	0.86%	1.19%	0.76%																																																																																																	
0.89%	1.98%	1.03%	— %																																																																																																	
0.90%	1.86%	1.64%	— %																																																																																																	
小学校																																																																																																				
23年度	24年度	25年度	26年度																																																																																																	
23件	15件	6件	28件																																																																																																	
0.85%	0.65%	0.27%	1.30%																																																																																																	
0.54%	0.65%	0.57%	0.88%																																																																																																	
0.48%	1.75%	1.80%	1.88%																																																																																																	
中学校																																																																																																				
23年度	24年度	25年度	26年度																																																																																																	
5件	10件	14件	9件																																																																																																	
0.42%	0.86%	1.19%	0.76%																																																																																																	
0.92%	1.04%	1.03%	1.17%																																																																																																	
0.90%	1.86%	1.64%	1.58%																																																																																																	

※(表1)下段に「※平成26年度調査は、対人関係のトラブルではないかと判断していたものも含めて計上したものである。」と加筆。

(表2) 不登校の出現率

小学校			
23年度	24年度	25年度	26年度
7人	7人	11人	11人
<u>0.47%</u>	0.30%	0.50%	0.51%
0.34%	0.34%	0.34%	0.39%
0.33%	0.32%	0.37%	<u>0.39%</u>

中学校			
23年度	24年度	25年度	26年度
19人	23人	<u>22</u> 人	22人
<u>2.48%</u>	1.97%	1.95%	1.85%
2.14%	2.01%	<u>2.13%</u>	<u>1.94%</u>
2.78%	2.69%	2.81%	<u>2.76%</u>

27 学校基本調査

(表2) 不登校の出現率

小学校			
23年度	24年度	25年度	26年度
7人	7人	11人	11人
<u>0.30%</u>	0.30%	0.50%	0.51%
0.34%	0.34%	0.34%	0.39%
0.33%	0.32%	0.37%	<u>0.40%</u>

中学校			
23年度	24年度	25年度	26年度
19人	23人	<u>23</u> 人	22人
<u>1.61%</u>	1.97%	1.95%	1.85%
2.14%	2.01%	<u>2.17%</u>	<u>1.97%</u>
2.78%	2.69%	2.81%	<u>2.88%</u>

H26 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

※データの更新
※出典表記変更

3

16

3	17	平成27年度全国学力・学習状況調査の結果より、「朝食を毎日食べている」と答えた児童生徒は90%前後います。また、 <u>ほとんど食べている</u> と答えた児童生徒を合わせると95%を超えて全国や県平均を上回っています。	平成27年度全国学力・学習状況調査の結果より、「朝食を毎日食べている」と答えた児童生徒は90%前後います。また、「 <u>どちらかといえばしている</u> 」と答えた児童生徒を合わせると95%を超えて全国や県平均を上回っています。	※語句の訂正
3	17	「規則正しい生活を送っていると思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた保護者は、小学校では86.2%、中学校では <u>84%</u> でほぼ基本的な生活習慣が身に付いています。	「規則正しい生活を送っていると思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた保護者は、小学校では86.2%、中学校では <u>84.0%</u> でほぼ基本的な生活習慣が身に付いています。	※小数点以下第1位まで表記
3	17	小学生は <u>約70%</u> 、中学生は <u>約80%</u> います。また、「持っていることで困ったことがある」と答えた小学生は <u>2%</u> 、中学生は <u>約8%</u> います。	小学生は <u>69.5%</u> 、中学生は <u>78.5%</u> います。また、「持っていることで困ったことがある」と答えた小学生は <u>2.0%</u> 、中学生は <u>7.5%</u> います。	※小数点以下第1位まで表記
3	17	近年、食生活が豊かになった一方で、不規則な食事や偏食などによる生活習慣病の増加など食をめぐる様々な問題が生じています。こうした中、 <u>平成17年に魚津市食育推進計画を策定し、平成24年には計画を見直して、市の豊かな地域資源を生かしながら、家庭、学校、地域が一体となり食育を推進しています。</u>	近年、食生活が豊かになった一方で、不規則な食事や偏食などによる生活習慣病の増加など食をめぐる様々な問題が生じています。こうした中、 <u>あらためて「食育」の必要性が重視されるようになり、国では、平成17年に「食育基本法」が制定され、本市においても、平成24年に「魚津市食育推進計画」を策定し、市の豊かな地域資源を生かしながら、家庭、学校、地域が一体となり食育を推進しています。</u>	※文言の変更

3	20	市内の14小中学校において、特別支援学級の開設は <u>20</u> 学級で、在籍する児童生徒数は <u>ここ数年約45名で推移</u> しています。	市内の14小中学校において、 <u>平成27年度</u> の特別支援学級の開設は <u>19</u> 学級で、在籍する児童生徒数は <u>43名</u> となっています。	※H27年データに更新。
3	20	通常学級における特別な支援が必要な児童生徒数の割合は <u>約6.4%</u> で、 <u>全国平均とほぼ同じ値になっています</u> 。児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行うため、通級指導教室の充実と特別支援スタディメイトの配置を行っています。	通常学級における特別な支援が必要な児童生徒数の割合は <u>8.2%</u> となっています。児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行うため、通級指導教室の充実と特別支援スタディメイトの配置を行っています。	※H27年データに更新。全国比較削除。
3	20	(表5) データ <u>H24-H26</u> (表6) データ <u>H24-H26</u> (表7) データ <u>H26</u>	(表5) データ <u>H25-H27</u> (表6) データ <u>H25-H27</u> (表7) データ <u>H27</u>	※表データを直近3か年に更新
3	20	(表6) 通常学級における <u>発達障がいのあるまたは疑いのある要支援児童数</u> と特別支援スタディメイト数	通常学級における <u>特別な支援が必要な児童生徒数</u> と特別支援スタディメイト数	※(表6)の表題の変更
3	20	<u>園</u> や学校、関係機関の連携を密にするとともに、保護者との相談や教育支援委員会の判断を基に一人一人の障がいの程度や発達の状態に合わせて就学支援を行っています。	<u>幼稚園・保育園</u> や学校、関係機関の連携を密にするとともに、保護者との相談や教育支援委員会の判断を基に一人一人の障がいの程度や発達の状態に合わせて就学支援を行っています。	※語句の訂正。
3	21	平成 <u>26</u> 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると <u>魚津市の小学校第5学年児童の93%</u> 、 <u>中学校第2学年生徒の86%</u> が「運動が好き」もしくは「やや好き」と答えています。また、ほぼ同じ割合の <u>児童・生徒</u> が「体育(保健体育)の授業は楽しい」もしくは「やや楽しい」と答えており、体を動かすことに肯定的な <u>児童・生徒</u> が多く見られます。	平成 <u>27</u> 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査によると <u>本市の小学校5年生の94.0%</u> 、 <u>中学校2年生の85.0%</u> が「運動が好き」もしくは「やや好き」と答えています。また、ほぼ同じ割合の児童生徒が「体育(保健体育)の授業は楽しい」もしくは「やや楽しい」と答えており、体を動かすことに肯定的な児童生徒が多く見られます。	※最新のデータに更新。それに伴う文言の訂正。 ※計画(素案)中、児童・生徒を全て児童生徒に変更。

3	21	調査における体力テスト合計得点の平均点に注目すると、中学生男女で全国平均及び県平均を下回っています。また、総合評価において平成 <u>26</u> 年度調査と平成 <u>25</u> 年度調査を比べると、平均を上回るA、B段階の生徒の割合が <u>減り</u> 、平均を下回るD、E段階の生徒の割合が <u>増えています</u> 。	調査における体力テスト合計得点の平均点に注目すると、中学生男女で全国平均及び県平均を下回っています。また、総合評価において平成 <u>27</u> 年度調査と平成 <u>26</u> 年度調査を比べると、平均を上回るA、B段階の生徒の割合が <u>増え</u> 、平均を下回るD、E段階の生徒の割合が <u>減っています</u> 。	※同上
3	21	1週間の総運動時間（学校での体育授業時間を除く）に注目すると、本市においては1週間の総運動時間が0分の児童生徒がみられます。児童では全体の <u>0～2</u> %ですが、特に中学校女子においては全体の <u>9</u> %と多くなっています。	1週間の総運動時間（学校での体育授業時間を除く）に注目すると、本市においては1週間の総運動時間が0分の児童生徒がみられます。児童では全体の <u>0～3</u> %ですが、特に中学校女子においては全体の <u>11</u> %と多くなっています。	※同上
3	21	※全国体力・運動能力、運動習慣等調査 文部科学省が <u>小学校第5学年・中学校第2学年</u> を対象に行っている調査です。小学校調査、中学校調査とも8種目の体力テストを実施し、それぞれの記録を項目別得点表により採点します。各項目の得点を合計し総合評価として、A～Eの5段階で評価します。	※全国体力・運動能力、運動習慣等調査 文部科学省が <u>小学校5年生・中学校2年生</u> を対象に行っている調査です。小学校調査、中学校調査とも8種目の体力テストを実施し、それぞれの記録を項目別得点表により採点します。各項目の得点を合計し総合評価として、A～Eの5段階で評価します。	※語句の修正
3	21	(図13) 中学男女総合評価データ更新	—	※平成27年度調査に基づき更新
3	21	(図14) 1週間の総運動時間データ更新	—	同上

3	23	「授業参観や学校行事に参加するようにしている」「どちらかといえばしている」と答えた保護者は、小学校では <u>69.6%</u> 、中学校では <u>34.1%</u> となっており、小学校では積極的に参加するものの中学校では関心が低くなっています。	「授業参観や学校行事に参加するようにしている」「どちらかといえばしている」と答えた保護者は、小学校では <u>95.2%</u> 、中学校では <u>73.3%</u> となっており、小学校では積極的に参加するものの中学校では関心が低くなっています。	※数値記載誤りによる訂正。
3	23	「学校の教育方針や児童生徒の学校での様子が分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた保護者は、小学校では <u>約90%</u> 、中学校では <u>約80%</u> となっており、おおむね様子が分かっています。	「学校の教育方針や児童生徒の学校での様子が分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた保護者は、小学校では <u>89.9%</u> 、中学校では <u>80.3%</u> となっており、おおむね様子が分かっています。	※数値を小数点以下第1位まで記載。
3	25	平成22年度より市内の小中学校の耐震化を進めており、 <u>平成26年度末の耐震化率は95.2%となっています。また、吊天井の撤去や照明設備等の落下防止策を進めています。</u>	平成22年度より市内の小中学校の耐震化を進めて <u>きました。平成27年度には、市内中学校体育館や武道場の吊天井の撤去や照明器具等の落下防止工事が完了しました。</u>	※文言の修正
3	26	急激な少子化に伴い、市内の児童生徒数は大きく減少して <u>います</u> 。文部科学省が定める適正な学校規模は、小中学校ともに1校あたり12～18学級としています。小学校において、今後の児童数を現在の住民登録をもとに予測すると、平成32年度には、市内に12ある小学校のうち、4校で複式学級が発生する過小規模校となる見込みです。対して、中学校では、同様に、生徒数・学級数ともに大きく減少して <u>いますが</u> 、ピーク時は過大規模校で <u>でしたが</u> 、生徒数の減少により適正規模にな <u>った</u> といえます。	急激な少子化に伴い、市内の児童生徒数は大きく減少して <u>います</u> 。文部科学省が定める適正な学校規模は、小中学校ともに1校あたり12～18学級としています。小学校において、今後の児童数を現在の住民登録をもとに予測すると、平成32年度には、市内に12ある小学校のうち、4校で複式学級が発生する過小規模校となる見込みです。対して、中学校では、同様に、生徒数・学級数ともに大きく減少しますが、ピーク時は過大規模校で <u>あったことから</u> 、生徒数の減少により適正規模にな <u>る</u> といえます。	※文言の修正

3	28	(図20) まちづくり市民意識調査	(図20) <u>H26</u> まちづくり市民意識調査	※年度記載 32頁(図23) (図24)も同様
3	32	文化団体の支援、市民文化祭や市美術展の開催等、市民レベルでの芸術文化活動の活性化を図っています。また、音楽のまちづくり推進事業の実施や学びの森音楽祭の開催等を通して音楽文化の振興に努めるとともに、市内の小・中学生を対象に美術や音楽の団体鑑賞会を開催しています。しかし、まちづくり市民意識調査においては、「芸術文化に触れる機会が多い」と回答している人は、 <u>全体の30%あまりにすぎません。</u>	文化団体の支援、市民文化祭や市美術展の開催等、市民レベルでの芸術文化活動の活性化を図っています。また、音楽のまちづくり推進事業の実施や学びの森音楽祭の開催等を通して音楽文化の振興に努めるとともに、市内の小・中学生を対象に美術や音楽の団体鑑賞会を開催しています。しかし、 <u>平成26年度</u> まちづくり市民意識調査において、「芸術文化に触れる機会が多い」と回答している人は、 <u>32.5%となっています。</u>	※表現の修正 (数値を小数点以下第1位まで記載)
3	32	市内の指定及び未指定物件も含め、文化財の保存と周知、調査に努めています。また、国の重要無形民俗文化財「魚津のタテモン行事」の曳き手不足解消のため、平成10年度から、たてもん曳き手ボランティアを募集し、たてもんの運行に協力しています。また、指定無形民俗文化財保存団体も支援しています。まちづくり市民意識調査では、「郷土の歴史や祭りなどの伝統が継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると思う」と回答している人は、 <u>全体の50%を超えています。</u>	市内の指定及び未指定物件も含め、文化財の保存と周知、調査に努めています。また、国の重要無形民俗文化財「魚津のタテモン行事」の曳き手不足解消のため、平成10年度から、たてもん曳き手ボランティアを募集し、たてもんの運行に協力しています。また、指定無形民俗文化財保存団体も支援しています。 <u>平成26年度</u> まちづくり市民意識調査では、「郷土の歴史や祭りなどの伝統が継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると思う」と回答している人は、 <u>56.2%となっています。</u>	※同上

5	42	認定こども園化について情報収集し、私立保育園への情報提供を図るとともに、公立保育園については、 <u>平成30年度に住吉保育園、平成31年度に経田保育園の認定こども園化をめざします。</u>	認定こども園化について情報収集し、私立保育園への情報提供を図るとともに、公立保育園については、 <u>民設民営化又は公設民営化も視野に、私立保育園の移行状況や保護者のニーズをみながら整備に努めます。</u>	※表現の変更										
5	44	①キャリアに応じた研修を充実させ、教員としての高い専門性や指導力等の <u>資質</u> 向上を図ります。	①__キャリアに応じた研修を充実させ、教員としての高い専門性や指導力等の向上を図ります。	※文言の修正										
5	49	◆ 施策目標 ◆ <table border="1" data-bbox="427 566 1050 713"> <tr> <td rowspan="2">・いじめ<u>認知件数</u> (千人あたり)</td> <td>小学校</td> <td><u>9.3</u>件</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>7.6件</td> </tr> </table>	・いじめ <u>認知件数</u> (千人あたり)	小学校	<u>9.3</u> 件	中学校	7.6件	◆ 施策目標 ◆ <table border="1" data-bbox="1162 566 1823 713"> <tr> <td rowspan="2">・いじめ(<u>認知件数</u>) (千人あたり)</td> <td>小学校</td> <td><u>13.0</u>件</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>7.6件</td> </tr> </table>	・いじめ(<u>認知件数</u>) (千人あたり)	小学校	<u>13.0</u> 件	中学校	7.6件	※データ更新
・いじめ <u>認知件数</u> (千人あたり)	小学校	<u>9.3</u> 件												
	中学校	7.6件												
・いじめ(<u>認知件数</u>) (千人あたり)	小学校	<u>13.0</u> 件												
	中学校	7.6件												
5	52	市や学校保健委員会による「早寝・早起き・朝ごはん」運動や <u>挨拶</u> 運動等、家庭への規則正しい生活の啓発活動を行います。	市や学校保健委員会による「早寝・早起き・朝ごはん」運動や <u>あいさつ</u> 運動等、家庭への規則正しい生活の啓発活動を行います。	※表記の変更										

5	53	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #ADD8E6;">数値目標項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">・朝食を毎日食べる児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・普段1時間以上インターネットやゲームをする児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標項目		・朝食を毎日食べる児童生徒の割合		・普段1時間以上インターネットやゲームをする児童生徒の割合		・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #ADD8E6;">数値目標項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">・朝食を毎日食べる児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <td colspan="2">普段1時間以上テレビゲーム等をする児童生徒の割合</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標項目		・朝食を毎日食べる児童生徒の割合		普段1時間以上テレビゲーム等をする児童生徒の割合		・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合		※文言の修正																				
数値目標項目																																								
・朝食を毎日食べる児童生徒の割合																																								
・普段1時間以上インターネットやゲームをする児童生徒の割合																																								
・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合																																								
数値目標項目																																								
・朝食を毎日食べる児童生徒の割合																																								
普段1時間以上テレビゲーム等をする児童生徒の割合																																								
・子供が規則正しい生活をしていると答えた保護者の割合																																								
5	53	本市では、 <u>豊かな地域資源を生かしながら、家庭、学校、地域が一体となり、市として「食育」を総合的に推進していくため、平成24年3月に「魚津市食育推進計画」を策定しました。</u>	本市では、 <u>平成24年3月に「魚津市食育推進計画」を策定し、豊かな地域資源を生かしながら、家庭、学校、地域が一体となり、「食育」を総合的に推進しています。</u>	※◇魚津市食育推進計画◇後段の表現の変更。																																				
5	55	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="background-color: #ADD8E6;">平成26年度実績（平成25年度現況）</th> </tr> <tr> <th></th> <th>魚津市</th> <th>富山県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小5男子</td> <td style="color: red;">54.87</td> <td style="color: red;">55.22</td> </tr> <tr> <td>小5女子</td> <td style="color: red;">55.94</td> <td style="color: red;">56.38</td> </tr> <tr> <td>中2男子</td> <td style="color: red;">43.57</td> <td style="color: red;">43.27</td> </tr> <tr> <td>中2女子</td> <td style="color: red;">46.51</td> <td style="color: red;">49.20</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度実績（平成25年度現況）				魚津市	富山県	小5男子	54.87	55.22	小5女子	55.94	56.38	中2男子	43.57	43.27	中2女子	46.51	49.20	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="background-color: #ADD8E6;">平成26年度実績</th> </tr> <tr> <th></th> <th>魚津市</th> <th>富山県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小5男子</td> <td style="color: red;">54.61</td> <td style="color: red;">54.96</td> </tr> <tr> <td>小5女子</td> <td style="color: red;">57.11</td> <td style="color: red;">56.31</td> </tr> <tr> <td>中2男子</td> <td style="color: red;">40.16</td> <td style="color: red;">42.25</td> </tr> <tr> <td>中2女子</td> <td style="color: red;">44.29</td> <td style="color: red;">48.08</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度実績				魚津市	富山県	小5男子	54.61	54.96	小5女子	57.11	56.31	中2男子	40.16	42.25	中2女子	44.29	48.08	※施策目標（H26年度実績値）の数値変更
平成26年度実績（平成25年度現況）																																								
	魚津市	富山県																																						
小5男子	54.87	55.22																																						
小5女子	55.94	56.38																																						
中2男子	43.57	43.27																																						
中2女子	46.51	49.20																																						
平成26年度実績																																								
	魚津市	富山県																																						
小5男子	54.61	54.96																																						
小5女子	57.11	56.31																																						
中2男子	40.16	42.25																																						
中2女子	44.29	48.08																																						

5	59	<p>統合後、通学距離がおおむね3キロメートル以内については、原則徒歩による通学としますが、通学路の安全確保や地理的な事情からスクールバスの必要性が非常に高いと考えられる場合は、例外的にバスの導入を検討します。また、通学区域の弾力化も検討していきます。</p>	<p>統合により、通学距離がおおむね3キロメートル以上については、<u>スクールバスによる通学とします。ただし、通学距離が3キロメートル以内であっても</u>、通学路の安全確保や地理的な事情からスクールバスの必要性が非常に高いと考えられる場合は、例外的にバスの導入を検討します。また、通学区域の弾力化も検討していきます。</p>	※表現の修正								
5	62	<p>2 放課後子ども教育事業 <u>小学生</u>を対象に、放課後や休日を利用してサークル活動や地域住民との交流活動を推進します。また、子どもたちがより有意義な<u>土曜日</u>を過ごせるように、地域の人材を活用した活動等を公民館において展開し、地域の教育力の向上を図っていきます。</p>	<p>2 放課後子ども教室等推進事業 <u>児童生徒</u>を対象に、放課後や休日を利用してサークル活動や地域住民との交流活動を推進します。また、子どもたちがより有意義な<u>時間</u>を過ごせるように、地域の人材を活用した活動等を公民館において展開し、地域の教育力の向上を図っていきます。</p>	※標題の訂正 ※対象を中学生まで拡大 ※文言の修正								
5	61	<p>◆ 施策目標 ◆</p> <table border="1" data-bbox="443 1145 1077 1337"> <thead> <tr> <th>H26年度実績</th> <th>H32年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>131,500</u>人</td> <td><u>132,000</u>人</td> </tr> </tbody> </table>	H26年度実績	H32年度目標	<u>131,500</u> 人	<u>132,000</u> 人	<p>◆ 施策目標 ◆</p> <table border="1" data-bbox="1167 1145 1800 1337"> <thead> <tr> <th>H26年度実績</th> <th>H32年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>136,257</u>人</td> <td><u>138,000</u>人</td> </tr> </tbody> </table>	H26年度実績	H32年度目標	<u>136,257</u> 人	<u>138,000</u> 人	※施策目標値の変更（実績・目標値）
H26年度実績	H32年度目標											
<u>131,500</u> 人	<u>132,000</u> 人											
H26年度実績	H32年度目標											
<u>136,257</u> 人	<u>138,000</u> 人											

5	63	地域の人材や資源を生かした取組みを進めるため、青少年教育、女性教育、成人教育団体等の育成と、各団体と連携・協力しながら生涯学習の担い手づくりに努めます。	地域の人材や資源を生かした取組みを進めるため、青少年教育、女性教育、成人教育団体等の育成を図るとともに、各団体と連携・協力しながら生涯学習の担い手づくりに努めます。	※文言の修正
5	69	市内の文化関係団体との連携を図り、市民文化祭や美術展の開催などを支援するとともに、新たな活動や若い世代を応援するなど、芸術や文化の振興を図ります。	市内の文化関係団体との連携を図り、市民文化祭や美術展の開催するとともに、新たな活動や若い世代を応援するなど、芸術や文化の振興を図ります。	※文言の削除
5	71	◆施策の展開◆ 1 各年代におけるスポーツ活動の機会の充実	◆施策の展開◆ 1 各世代におけるスポーツ活動の機会の充実	※標題の変更
5	72	市民が自主的に継続できる運動やスポーツを行えるような、スポーツに関する情報を発信し、広報活動の展開に努めます。	市民が自主的に運動やスポーツを継続できるようにスポーツに関する情報を発信し、広報活動を充実します。	※文言の修正
6	75	本計画に掲げた基本理念、基本目標、各種施策を教育関係者や市民から幅広い理解と協力を得るため、市ホームページなどを活用して積極的に情報発信を行います。	本計画に掲げた基本理念、基本目標、各種施策に対して教育関係者や市民から幅広い理解と協力を得るため、市ホームページなどを活用して積極的に情報発信を行います。	※文言の修正